

(様式第1号)

自己評価票

(個別表)

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
		I-1. 理念と共有			
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	企業理念は勿論、ホーム独自の理念も作り掲示している		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常に掲示し職員の指標とし、日々のケアに取り組んでいるが、全ての職員が把握出来ているかは解らない	○	職員については理念の理解が何処まで出来ているかの把握が必要
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	玄関ホールに掲示し、来訪者にも理念を見て頂いているが、ご家族や地域の人々に浸透するまでには至っていない	○	理念の浸透が出来るようご家族や近隣の方が集まる機会(運営推進委員会等)に説明を行う
理念と共有 3項目中 3項目					
		I-2. 地域との支え合い			
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日々の挨拶は勿論、子供たちが遊びに来たり、田んぼ仕事の途中で立ち寄られたりと、近隣の方々とのお付き合いは日常的に出来ている		
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会へ加入し、地域行事への積極的な参加を行っている		
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	具体的な地域貢献を行ってはいないが、今後の課題として話し合いは行っている	○	地域の老人会との交流を計画中
地域とのつきあい 3項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		I－3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員で行い、問題点を明確化し、より良いサービスの提供に向け、改善に取り組んでいる		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議ではホームからの報告の基づき、活発な意見交換にて、サービス向上に取り組んでいる		
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者とは、必要に応じて相談行い助言や提案を頂き、サービス向上に取り組んでいる	○	今後は運営推進会議への出席を依頼し、定期的な情報交換を行っていきたい
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	以前、入居者の方が成年後見制度を利用していた事もあり、管理者、職員とも権利擁護の理解は出来ている		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	入社時の研修や拠点内での定期的な研修にて虐待防止について学ぶ機会があり、職員一人ひとりに「高齢者虐待防止の手引き」を配布し、常に手に取れる環境にし防止に努めている		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 5項目					
		I－4. 理念を実践するための体制			
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、読み合わせと共に、説明を行い、理解・納得を得られるよう、時間をかけて契約を行っている		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見や要望は常に聞ける体制を作っているが、今まで、ホーム運営に反映するような意見は無い		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回「ほほえみ便り」を発行し一人ひとりの状況をお伝えし、ホーム来訪時には必ず「おこづかい帳」と「ふれあいノート」を提示しサインを頂いている		

ニチイのほほえみ大津仰木の里(1Fすみれ)

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム来訪時や運営推進会議出席時等にご家族意見をお伺いする機会を設けている。直接言いにくい意見は外部機関の連絡先を掲示している。又、意見箱の設置も行っている		
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月スタッフ会議を開催し、職員意見を聞く機会を設け、意見はホーム運営に反映させている		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	常に利用者の状況に合わせた勤務シフト作成を行っている。又行事時には支援スタッフを増員し柔軟な対応をしている		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職があれば、日ごろの支援に影響がないようシフト調整等で配慮を行っている		
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修は随時参加の機会を設け、法人外の研修は情報を開示し参加者を募り、自らのスキルアップの機会を設けている		
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流の機会は少なく、今後の課題としている	○	地域の同業者や企業間での交流の機会を作るべく、夏祭りを企画している
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	定期的にスタッフ個人面談を行っているが、ストレス軽減までは出来ていない。又ホーム内にゆっくり休める空間が無く、仕事時の気分転換は難しい	○	ストレス解消への工夫と日々の休憩時間確保が出来る環境を作りたい
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員一人ひとりの向上心を認め、より以上のスキルアップに向け支援を行っている。又資格所得での手当て支給もある		
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
		II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聞く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居相談時より、ご本人の状況把握を行い、信頼関係を築くべく、必ずご本人と会話の機会を作りご本人の思いを聞いている		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聞く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族様とは入居に向けての話し合いを行い、ご希望やご質問等をお伺いし、不安感の軽減が出来、信頼関係の構築が出来るよう努力を行っている		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご相談の内容により、ホーム入居とは別の必要な支援があればその都度、ご案内を行っている		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するため、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	居室や他の入居者の雰囲気を見て頂き、不安感無く入居ができるよう、事前のホーム見学は何回でも行えるような支援体制を作っている		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目					
		II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として教えて頂く事が沢山あり、同じ空間を過ごす時間で、お互いに協力しつつ支えあう関係が築かれている		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホームとご家族の情報共有にて、ご本人を支援していく為の方向性を、統一する関係作りを行っている		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていくように支援している	ホーム入居後もご家族様へは定期的に状況報告を行い、ご家族様とのより良い関係継続への支援を行っている		

ニチイのほほえみ大津仰木の里(1Fすみれ)

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている	友人やご親戚との関係が途切れないよう手紙のやり取りや外出支援を行っている		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士、会話の機会も多く、1、2階の隔たりなく交流も行え、支え合える関係作りが行われている		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ホーム退去後もご家族様が必要とされれば連絡相談に努める。又、ホームを訪れたり、電話での報告を頂いたりと継続した関わりが出来ているご家族もある		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
		Ⅲ-1. 一人ひとりの把握			
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人にとって何が一番良いのかと、常に本人の思いや意向を把握するよう心かけ対応している		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時には「センター方式」の書式を使用しアセスメントを行い、今までの生活歴や暮らし方、好み等の把握を行っている		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の暮らし方は個々に違うので、入居者全ての心身状態を共有し、現状に合わせた支援を行っている		
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
		Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	アセスメント、モニタリング、サービス担当者会議を開催し、チームとして話し合い意見交換にて、介護計画書作成を行っている		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	認知症進行や退院時等の状態変化には現状把握にて随時モニタリングと担当者会議を経て介護計画見直しを行っている		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の他、センター方式の利用で気づきや変化を共有しながら介護計画見直し時に反映させている		
介護計画の作成と見直し 3項目中 3項目					
		Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人やご家族からの要望があれば、その都度出来る限りの対応を行っている		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		III-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<p><input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	図書館利用や地域のボランティアさんの協力で歌や楽器演奏等、レクレーションの機会もある		
41		<p><input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャー やサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	現在、他サービス利用の意向や必要性の有る方は居ない	○	必要があれば、他のサービスの利用支援を行う
42		<p><input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	毎回運営推進会議に地域包括支援センター職員が出席し、ホームへのアドバイスを頂いている	○	権利擁護等の必要性があれば、地域包括支援センターとの協働を行う
43	18	<p><input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	ホーム協力医以外のかかりつけ医受診や治療継続はご希望に添い支援行っている		
44		<p><input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	専門医受診についての相談は都度行い、受診後の専門医との情報共有も行っている		
45		<p><input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	毎週金曜日に訪問看護があり、健康管理を行っている		
46		<p><input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	協力医と入院先病院との情報交換の継続により、退院に向けた連携を行い、退院時はドクターとのムンテラに参加し、状態把握に努めている		
47	19	<p><input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期の方針について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	契約時に「看取りに関する指針」を取り交わし重度化した場合は、協力医とご家族、ホームとの話し合いにて早期に方針を共有し対応行っている		

ニチイのほほえみ大津仰木の里(1Fすみれ)

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	「看取りに関する指針」に基づき、終末期をどのように迎えるかをご家族様と話し合い、ホームとしての支援や変化時の対応など具体的に取りきめを行っている		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	環境の変化によるダメージを最小限にする為、関係者間での要請により情報交換を行っている		
地域資源との協働 10項目中 10項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
		IV-1. その人らしい暮らしの支援			
		IV-1. (1) 一人ひとりの尊重			
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	一人ひとりの尊厳を傷つけないような言葉かけを行うよう指導している。支援の中で不適切な言葉を使っている職員が居れば、都度注意を行っている。又記録内の個人情報は全てイニシャル表示を行っている		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	生活の中で答えが選べる会話を心がけ、自己決定の機会を持つ支援を行っている		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間や曜日での取り決め事は無く、一人ひとりの過ごし方を優先した日常を送っている。又、希望により個別対応での外出等も行っている		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目					
		IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月2回「お手入れの日」を決め、マニキュアをしたり、顔そりを行っている。理美容はホームに来て頂く業者利用の方と、ご本人の馴染みの店に行く方が居る		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	現在、炒め物程度のお手伝いをされる方は居るが、他の方は味付けや配膳、片付けの手伝いを継続して行っている。又、新聞チラシを見ながら好みのおかずを聞き献立作りの参考にしている		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	行事時の飲酒や取り決めによる喫煙をされている方がいる。又、個人の好みに合わせたおやつの提供もしている		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄パターンの把握にて、排泄の定期誘導支援にて、失禁予防や保清の継続を行っている。又、不必要なりハビリパンツや尿パット使用の廃止も行っている		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	月1回26日をフロの日と決め、入浴剤の選択をし、お好みの香りと温泉効能で入浴を楽しんで頂いている。又、曜日や時間の取り決めは無く、朝から入浴出来る体制をとり、ご本人の希望にて入浴を行っている。毎日利用されている方も居る		

ニチイのほほえみ大津仰木の里(1Fすみれ)

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	都度の状況により安眠出来て居ない時には、昼夜逆転にならない程度で、日中に休む時間を設定したり、環境により安眠出来ない場合は居室の住み替えも行っている		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6項目					
		IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本好きな方には図書館利用、縫物が好きな方には縫物の提供と個々の楽しみや趣味を生かせる支援を行っている		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	会社方針にてお金の所持は出来なく、お小遣いとして、事務所金庫で預かっている。必要な時に必要なだけお渡しする事は出来るが、その機会は年に数回のみとなる(買い物ツアーや等)	○	日常的に買い物の機会を持ち、金銭感覚を保持出来る支援を行いたいと思う
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	体調や気温見て、散歩は日常的に行っており。又、図書館利用や買い物への同行で外出の機会を作っている		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外出事が隔月ぐらいにあり、タクシーやバス利用での外出を行っている。又、ご家族様と共に外食や外出に行かれる方も居る		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	昔からのお友達やご親戚、ご家族との連絡は手紙、電話、FAXの利用で行っている		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族、友人は勿論、誰でも訪問出来るよう、ホームはいつでも開扉している。又、ホーム内でもゆっくり過ごせるよう、居室以外の場所も使用出来る		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6項目					
		IV-1. (4) 安心と安全を支える支援			
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会があり、定期的に身体拘束についての理解に向け研修を行っている		

ニチイのほほえみ大津仰木の里(1Fすみれ)

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上必要な場所以外は施錠せず、玄関はセンサー対応になっている		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員間ではプライバシーに配慮しながら、常に所在確認行い状態把握にて安全に配慮している		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご本人が管理出来ない状態の場合は、全て管理している。馴染みの裁縫道具などはお持ち頂き、刃物類や針は保管させて頂いている		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	定期的にヒヤリハット研修を行い、一人ひとりの状態把握により、未然に事故を防ぐ為への取り組みを行っている		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員は救命講習を修了している。容態急変や事故発生時のマニュアルもあり、対応が行える		
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけていく	定期的な火災避難訓練により、避難経路や方法を把握している。又、地域住民参加による避難訓練も行い、入居者の状況把握も出来ている		
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	ご契約時や状態変化時に起こりえるリスクについて説明行い、ご家族のご希望も聞きながら、ホーム対応へのご理解を得ている		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 8項目					
		IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタル測定行い、体調の変化や日ごろとの違いを早期に発見し、協力医との連携と情報共有にて対応行っている		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全拠点統一の服薬管理マニュアルがあり、マニュアルに沿って支援行っている。又、医療機関受診時には服薬変更の申し送りも行い、職員は各自把握を行っている		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄記録により、便秘が継続しないように水分提供や服薬調整中の方には協力医の指示で対応を行っている		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時や毎食後の口腔ケアを促し遂行し、何人かは定期的に訪問歯科受診での口腔内ケアも行っている		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量の記録があり、栄養状態や水分確保状態が解るので、一人ひとりの対応を行っている		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策マニュアルに基づき予防と対応を行っている		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日、キッチン衛生点検表・キッチン管理点検表の記入にて衛生管理を行い、食材は消費期限・賞味期限を把握し、管理行っている		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					
		IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
		IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり			
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関スロープを設置し、バリアフリーで安心して出入りができる。又、四季の草花を植え周りの環境に溶け込むような工夫もしている		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間のリビングは季節毎に飾り付けを変え、季節感ある空間作りを行っている。又、匂いや音への配慮も行っている		

ニチイのほほえみ大津仰木の里(1Fすみれ)

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下には椅子を配置し、個別で利用したり、入居者同士でのくつろぎ場所になっている		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、現在使用中の馴染みの家具をお持ち下さいとご案内している。又、居室内は自分の部屋と認識出来る居場所作りをお願いしている		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気・空調は常時調節行い、居心地良い環境作りを行っている		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5項目					
		IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差の無いバリアフリーな環境と各所に手すりがあり、安全に配慮行っている		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室には表札をかけ、自身の居室が解るようしている。又、トイレには緑色の表示があり、混乱しないような工夫をしている		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周囲や空間の活用 建物の外周囲やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	1階のウッドデッキでは、入居者同士でのお茶会も出来、その横にあるスペースでは、畑を作り、夏野菜・冬野菜と四季を通じて野菜作りを行っており、収穫を楽しんでいる		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目

項 目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
↓○印欄		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ①職員全てが委員会に属し、より良いホーム作りの為、日々アイデアを出し、行事や環境整備を行っている。
- ②季節感のある行事により、来月は何をするのか?と楽しみにしている入居者様もいる。ご本人の希望に答えられるように、要望や意見は常に聞き、出来る事は必ず行えるよう支援している。
- ③1・2階の交流を日々行い、入居者同士のコミュニケーションを支援している。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
—1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
—2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
—3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
—4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
—5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
—1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
—2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
—1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
—2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
—3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
—4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV-1. その人らしい暮らしの支援	
—1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
—1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
—1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
—1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
—1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
—2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
—2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価	
I 理念に基づく運営 (<input checked="" type="checkbox"/> 5項目／5項目)について	ホーム理念はホーム玄関に掲示しているが、地域の方々への浸透は出来ていない状況が続いている。今後は地域密着のホームとして何を目指しているのかを明確に地域の方々に理解して頂けるよう運営を行う。又、職員も理念への理解を深め、法令遵守・リスクマネジメントへの理解も同時に進行し、今後は研修参加等でスキルアップを行う
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (<input type="checkbox"/> 2項目／2項目)について	入居前より、ホームとご家族との情報共有を行い、より良い支援に向けての要望や計画をお伝えし、ご家族様の理解とご協力を願っている。入居者様との馴染みの関係作りは出来ているので、今後はホーム理念に基づいた笑顔溢れる毎日が過ごせるよう、一人ひとりの要望に沿う支援を行いたい
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (<input type="checkbox"/> 4項目／4項目)について	センター方式によるアセスメントを行い、状態変化に伴った、ケアプランの変更を行っている。モニタリング⇒担当者会議⇒ケアプラン作成の流れで、その人らしい生活の継続に向けた介護計画作成を職員全員での取り組みで出来るようになって来ている
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (<input type="checkbox"/> 7項目／7項目)について	入居者一人ひとりを把握し、何を求めてるかの思いを知り、思いをかなえる為には何を支援すべきかを職員同士が意見を出し合い、支援を行って来た。この流れを大事に、いつでもどうしたらより良い笑顔を見出せるかを考えた支援方法を行い、ホームでの日々の暮らしが安心して続けられるよう支援を行う
V サービスの成果に関する項目について	入居者の半分以上が入居1年前後となり、ホーム開所からの入居者が少なくなっている状況で、ホームの雰囲気もかなり変化してきている。今年は、行事計画の実施以外にも外出支援を行い、昨年度よりは外に出る機会が増えたので、今後は、一人ひとりの楽しみを見つける支援を行う

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日：22年 7月 1日

前回評価年月日：21年 4月 20日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期評価実施時期
評価項目番号	優先順位	内 容				
3.5.6	1	地域に根差したホームへの位置づけ	H22年7月～H23年6月	①ホーム理念の浸透に向けた具体的な活動立案 ②地域ニーズの情報収集		H23年6月
19.20 22	2	人材育成とスキルアップへの取り組み	H22年7月～H23年6月	①内部研修・外部研修への参加推進 ②新人育成担当者(OJT)との情報共有にて経過と育成での問題点を把握する		H23年6月
21	3	職員のストレス軽減に向けた取り組み	H22年7月～H23年6月	①他施設との交流会企画 ②親睦会(飲み会)の定期開催		H23年6月